

平成 21 年 10 月 13 日

各 位

株式会社 りそな銀行

**グループ専用投資信託「りそな米国ハイ・イールド債券ファンド
(豪ドルコース/ブラジルリアルコース)」の取扱開始について**

りそなグループのりそな銀行（社長 岩田 直樹）は、本日より、クレディ・アグリコル アセットマネジメント株式会社が設定・運用する専用投資信託「りそな米国ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース/ブラジルリアルコース）」の取り扱いを開始いたします。

本商品は、追加型の毎月分配型ファンドで、米ドル建の米国ハイ・イールド債券を実質的な投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指すとともに、「豪ドル」もしくは「ブラジルリアル」に為替ヘッジ取引を行うことで、為替ヘッジプレミアムを獲得することを目指す商品性となっています。

りそな銀行では、今後ともお客さまの多様化するニーズに幅広くお応えできるよう、より一層商品の充実に取り組んで参ります。

（本商品の主な特徴）

（1） 米ドル建てのハイ・イールド債券を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。

米国建てのハイ・イールド債券を主要投資対象とする外国籍の投資信託証券と、円建の国内籍投資信託である CA マネープールファンドの投資信託証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

※米国ハイ・イールド債券の運用は J.P. モルガン・インベストメント・マネージメント・インクが行います。

（2） 為替ヘッジ取引の対象通貨が豪ドルとブラジルリアルの 2 つのコースがあります。

米ドル建のハイ・イールド債券を、豪ドルもしくはブラジルリアルで為替ヘッジ取引を行う 2 つのコースがあります。

現状、米ドルより豪ドル/ブラジルリアルは高金利となっており、為替ヘッジプレミアムが期待できます。

※米ドルが豪ドル/ブラジルリアルよりも高金利となった場合は為替ヘッジコストが発生し基準価額の下落要因となります。

（3） 毎月分配型

原則として毎月決算を行い、実績に応じて分配金が支払われます。

※ 分配金額はあらかじめ確定しているものではなく、ファンドの運用状況（基準価額水準及び市況動向）等によっては分配を行わないこともあります。

以上

【別紙】

<商品概要>

ファンド名称	りそな米国ハイ・イールド債券ファンド(豪ドルコース) りそな米国ハイ・イールド債券ファンド(ブラジルリアルコース)
申込単位	1万円以上1円単位
当初申込期間	平成21年10月13日～平成21年11月5日
継続申込期間	平成21年11月6日～平成23年1月7日まで ※上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます
信託設定日	平成21年11月6日
信託期間	約5年
決算日	毎月8日(休日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配します。(第1回決算日は平成22年1月8日)
お申込み・ご換金	原則、いつでもお申込み・ご換金が可能です。ただし、ファンド休業日にあたる場合はお申込み・ご換金できません。
販売手数料	3.675%(消費税込み)以内
信託報酬	純資産総額に対して最大年率1.654%(消費税込み) 各ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式をとっているため、各ファンドの約款で定める信託報酬の年率0.924%(税込)に、組入投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの(年率0.73%)を加算しております。
信託財産留保額	0.1%
委託会社	クレディ・アグリコル アセットマネジメント
販売会社	商号等/株式会社りそな銀行 登録金融機関 近畿財務局長(登金)第3号 加入協会/日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会
受託会社	商号等/株式会社りそな銀行 登録金融機関 近畿財務局長(登金)第3号 加入協会/日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会

ご留意事項

- 本案内に記載のファンドは、実質的に株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、株価、金利、通貨の価格等の指標に係る変動や発行体の信用状況の変化を原因として損失が生じ、元本を割り込むおそれがあります。
- 本案内に記載のファンドへのご投資では、所定の手数料等(お申込金額に対して最大3.675%(税込)のお申込手数料、純資産総額に対して最大年率1.654%の信託報酬、その他運用に係る費用等の合計)をご負担いただきます。
- 投資信託は、預金でなく、預金保険の対象ではありません。また当社を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 投資した資産の減少を含むリスクは投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。
- 投資信託の募集・申込等のお取扱は当社、設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- 商品毎に手数料等およびリスクなどが異なります。詳細については、契約締結前交付書面や投資信託説明書(目論見書)をよくお読みください。
契約締結前交付書面や投資信託説明書(目論見書)は本支店窓口等にご用意しております。なお、投資信託説明書(目論見書)は、りそな銀行Webサイトからもダウンロードできます。

ファンドの主なリスク

以下に記載する投資リスク及び留意点は各ファンドの投資信託説明書（目論見書）に記載するもののうち、一部の要約であり、各ファンドに係る全ての投資リスク及び留意点を網羅するものではありません。詳細は投資信託説明書（目論見書）の「ファンドの主な投資リスク及び留意点」を必ずご参照ください。

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある資産（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、各ファンドは、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、全て受益者に帰属することとなります。各ファンドにおける主な投資リスクは次の通りです。これら投資リスクにより、各ファンドの基準価額は下落する可能性があり、損失を被り投資元本を割込むことがあります。

金利変動リスク	<ul style="list-style-type: none"> 債券価格は金利変動等により変動します。一般的に金利が上昇した場合には債券価格は下落し、各ファンドの基準価額が下落する要因になります。
信用リスク	<ul style="list-style-type: none"> 発行体の財務内容の悪化等により債券の元金や利金等の支払といった発行体による債務の履行が遅滞する、あるいは履行されないリスクです。また為替取引等の金融取引の相手方が債務を履行しないリスクです。各ファンドが実質的に投資する債券の発行体や投資対象先の外国籍投資信託が行う為替ヘッジ取引等の取引相手方等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化を含む信用状況等の悪化といった事態は信用リスクの上昇を招くことがあり、その場合には実質的に投資する債券の価格の下落及び上記為替ヘッジ取引等に障害が生じ、不測のコスト上昇等を招くことがあります。この場合、各ファンドの基準価額の下落要因となり、損失を被り投資元本を割込むことがあります。 債券の発行体など及び上記為替ヘッジ取引等の取引相手等が破産した場合は、投資資金の全部あるいは一部を回収できなくなることがあります。その結果、各ファンドの基準価額が下落し、損失を被り投資元本を割込むことがあります。 各ファンドの主要投資対象である外国籍投資信託（ファンド）は主にダブル B 格 [BB+格（スタンダード&プアーズ社）/Ba1格（ムーディーズ社）] 以下のハイイールド債（高利回り債/投機的格付債）を投資対象としているため、トリプル B 格 [BBB-格（スタンダード&プアーズ社）/Baa3格（ムーディーズ社）] 以上の投資適格債を主要投資対象とするものに比べて信用リスクが高くなります。
為替変動リスク	<ul style="list-style-type: none"> <p>■ 豪ドルコース</p> <ul style="list-style-type: none"> 当ファンドの主要投資対象である外国籍投資信託は、主に米ドル建資産に投資し、原則として米ドル売り、豪ドル買いの為替ヘッジ取引を行います。そのため、当ファンドは円に対する豪ドルの為替変動の影響を受け、為替相場が豪ドルに対して円高方向に進んだ場合には、当ファンドの基準価額は下落し、損失を被り投資元本を割込むことがあります。また、米ドル建資産に対して豪ドルで完全にヘッジすることはできませんので、基準価額は円に対する米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。なお、為替ヘッジ取引を行う場合で豪ドル金利が米ドル金利より低い場合、米ドルと豪ドルの金利差相当分の為替ヘッジ取引コストがかかることにご留意ください。 <p>■ ブラジルリアルコース</p> <ul style="list-style-type: none"> 当ファンドの主要投資対象である外国籍投資信託は、主に米ドル建資産に投資し、原則として米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替ヘッジ取引を行います。そのため、当ファンドは円に対するブラジルリアルの為替変動の影響を受け、為替相場がブラジルリアルに対して円高方向に進んだ場合には、当ファンドの基準価額は下落し、損失を被り投資元本を割込むことがあります。また、米ドル建資産に対してブラジルリアルで完全にヘッジすることはできませんので、基準価額は円に対する米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。なお、為替ヘッジ取引を行う場合でブラジルリアル金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとブラジルリアルとの金利差相当分の為替ヘッジ取引コストがかかることにご留意ください。
分配金に関する留意点	<ul style="list-style-type: none"> 各ファンドは、原則として毎決算時に収益分配方針により分配を行います。分配金額はあらかじめ確定しているものではなく、ファンドの運用状況（基準価額水準及び市況動向）等によっては分配を行わないこともあります。